



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和7年11月②
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobb.jp

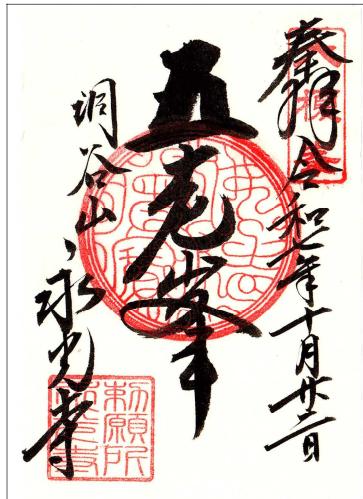


◆ここから曹洞宗はひろがってきました

曹洞宗の大本山は永平寺と総持寺。その総持寺を開かれたのは瑩山紹瑾禪師です。瑩山禪師は総持寺を開く十年ほど前に、永光寺(ようこうじ)も開かれました。

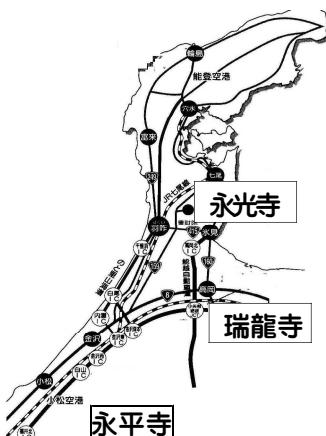
10月に出かけた宗務所団体研修で、この永光寺にもお参りしました。

永光寺でいただいた御朱印の中央には「五老峯」と書かれています。



永光寺背後の山手に五老峯と示される場所があります。道元禪師に曹洞禪を伝えた中国の如淨禪師、道元禪師、また道元禪師に続く懷奘禪師、義介禪師、そして瑩山禪師の遺品が埋められているところです。この五老峯を擁し、永光寺は能登における中心寺院となることはもちろん、全国へ曹洞宗がひろがっていく根本道場となっていました。

瑩山禪師は、晩年に又この永光寺にもどられたのち示寂され、墓所もここにあります。



普段は入ることのできない「伝燈院」という開山堂にも案内いただきました。他に類例の無い独自の形式のお堂で、450年ほど前の兵火で唯一残った建造物と伝えられています。

永光寺は石川県羽咋市にあります。羽咋市は“UFOの町”として知られています。

この地方に「そうはちばん伝説」というお話があります。江戸時代に空を飛ぶ謎の物体が目撃されたというものです。その形状が仏具「そうはちばん」に似ているころから付けられた名称だそうです。



「そうはちばん」はシンバルのような形で、今も使っているみょうはち(妙鉢)のことと想像できます。

UFO研究機関が、UFOの目撃情報が激減したと報告していました。いくつかの理由が述べられていますが、「人は外での待ち時間に、空を見上げなくなったから」とも。寒くなりましたが、空は澄み、流星などの天体の話題も報じられ、天頂に視点を動かしてみるのもよいですね。

◆講談師？ いえいえ、ご住職です

七色の声を使い分け、“あなたは講談師ですか”と疑うばかりに流ちょうにお話にいただいたのは高岡市にある瑞龍寺ご住職。

市街平野部にある瑞龍寺は、金山が国宝あるいは重要文化財。加賀藩二代藩主前田利長公の菩提を弔うために建立されたお寺です。

ご住職のお話から、お寺や加賀藩のことだけ無く、当時のあるいは後世の様々な社会事情などとのつながりも理解できました。

